

ウチヤマタイムズ

(株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話:093-551-0002
発行日:2019年10月21日 編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里 監修:内山文治・吉岡信之

11
2019
No.213

UCHIYAMA HOLDINGS
ウチヤマホールディングス
グループ
東証一部上場
(証券コード:6059)

台風十五号直撃! その時現場は…

さわやか俱楽部「コンプライアンス推進会」での報告より

九月九日の未明、台風十五号の接近に伴い千葉県内では五〇m級の強風が吹いて鉄塔が倒れ、最大で六十四万軒が停電しました。午前四時頃には千葉市にある「さわやかゆう輝の里」「さわやかグループホームはなみずき」も停電となりました。近くの道路の信号も消え、電線が切れで火花が散っている状況でした。停電は九月十二日までの四日間続きました。日中は施設内の温度が四〇°C近くまで上がり、湿度も高かつたため暑さとの戦いでした。夜間でも三〇°Cに近く、入居者様も職員も寝苦しい夜が続きました。水道は通っていましたが電気が無いために水道は二階、三階まで上がり、ガスも使用できませんでした。

九月九日の日中より、千葉県内で停電していません。各施設の施設長が備蓄用の非常食を持ち出し、さらに追加で飲料、飲料水、防災グッズ(懐中電灯、電池、冷えピタ等)を購入しながら応援に向かいました。千葉県内の高速道路も止まつており、通常の何倍も時間がかかりました。また十日以降も、千葉市内の停電していないスーパーや市外まで買い出しに行き、食料の確保を行いましたが、スーパーもパンや水、飲料水は売り切れの店舗が多くたです。ゆう輝の里では、九日の朝食以降の食事は栄養士が管理を行い、各施設から集めた非常食、パン、缶詰を提供しました。食器はすべて紙皿で、飲み物も紙コップを使用しました。はなみずきでは、十一日以降、懇意にしている食事のデリバリー業者の協力により、入居者様には温かい食事の提供を行うことができました。

食事関係



今回の災害における教訓と今後の検討事項

- ◎各施設もしくはエリア内で発電機の備蓄を検討する。
- ◎排せつ等に使用する水の確保として、浴槽の水を貯めておく。
- ◎ご家族様への連絡が難しい時を考え、ホームページ等に災害用連絡ツールを確保する。
- ◎施設の規模に合わせた分量・包装形態の非常食を備蓄し、非常用ソフト食も用意する。
- ◎その他、あつた方が良いと感じた物・非常用の瞬間冷却材、各居室用の懐中電灯、カイロや毛布(冬期)

電気関係

施設の電気設備点検を行っている業者に連絡を取り、発電機を合計三機借りることができました。発電機は日中はエアコンと扇風機の動力として使用しましたが、一台の発電機で使用できるのは居室用のエアコン一台が限界で、エアコンによる業務用エアコンは稼働できなかつたため、ゆう輝の里では施設内の室温を下げることが難しく気休め程度にしかなりませんでした。はなみずきでは入居者が少ないためエアコンが使える一室に全員が集まつて避難所としていました。夜間帯は発電機を使って工事用の電球を使用し、各フロアの最低限の明かりの確保を行いました。

入居者様対応

ゆう輝の里では日中、入居者様にはできるだけ各フロアの共同スペースに集まつて過ごしていました。温度が高いため、水分補給をしっかりと取つてもらうよう職員に指示を出し、水分量の把握をしながら対応しました。三階フロアは他の階より温度が上がり、具合が悪くなつた入居者様には一階ショートステイの空き部屋に移動していただくことにしましたが、エレベーターも止まつたためシーツを使用して職員が体を持ち上げ、階段で降りました。夜間は発電機を利用して最低限の照明と懐中電灯を廊下と階段に設置し、巡回の時にはランタンを持って対応しました。入居者様も不穏になることもなく、転倒やエスケープ等の事故もありませんでした。

ご家族様対応

ゆう輝の里では、電気が一時復旧した際にご家族様に状態報告を行いましたが、電波が悪く電話が繋がらないご家族様もあり、すべてのお客様に連絡ができず再度停電になつてしまつたため、その後は携帯電話を使用して連絡しました。はなみずきでも携帯電話でご家族様に連絡をとり状況説明を行いました。

内山社長が紹介されました!

内山社長が紹介されました! 読売新聞にて、内山文治社長が紹介されました。合計七回の連載記事で、幼少期から米屋の跡取りを経て、ウチヤマグループを創業し今日に至るまでの道のりが詳しく書かれています。掲載が始まってから多くの反響があり、記事を読んで現在の活躍を知つたという内山社長の小学校時代の同級生からも、新聞社を通じて手紙が届きました。

第28回ウチヤマグループ特別講演会 開催決定



日時 2020年5月21日(木)
17時開場/18時開演
会場 アルモニーサンク
北九州ソレイユホール
講師 ジャーナリスト
櫻井よしこ 氏
入場料 お一人様 3,000円
(株)ウチヤマホールディングス
TEL.093-531-0966



第2回 ケアインストラクター養成講座

10月8日から10月11日にかけて、「第2回ケアインストラクター養成研修」が行われました。今回も厳しい指導と審査を受けた13名がケアインストラクターに合格し、認定証が渡されました。



【ケアインストラクター資格取得者】

さわやか東神楽館 佐藤 つぐみ
さわやか桜式番館 高橋 美穂子
さわやかGHなすしおばら 郡司 敏江
さわやかくまがや館 伊達 紀子
さわやか成田館 野上 亮太
さわやかいなざわ館 飯尾 武志
さわやか笠寺館 横井 麻里
さわやか住吉館 入江 恭弘
さわやか田川館 松永 由紀
さわやか大畠式番館 後藤 聖矢
さわやか新門司館 小松 耕一
さわやか野方館 三坂 愛実
さわやかさかのいち館 島川 大輝

介護職員初任者研修修了式

さわやか倶楽部の本社で今年8月から行われていた「介護職員初任者研修」が修了し、10月4日に修了式が行われました。



【さわやか倶楽部の資格取得者】

さわやか大畠式番館 野田 祐樹
GHみどりのき 渡邊 聰子
GHせいのう 田所 千加子
GHせいのう 内田 典子

※GH→グループホーム

たかし 石橋高次社長絵画展を開催

内山さわやか会に所属する株式会社石橋アートの代表取締役・石橋高次社長が、地元の遠賀郡芦屋町にある「ギャラリーあしや」で9月7日から9月23日まで絵画展を開催しました。開幕初日には、絵画展の記念ライブが開催され、石橋社長も自慢のギターと歌を披露し、多くのお客様が集まりました。また、絵画を通じて親交のある北九州市の北橋健治市長も会場に足を運び、シルクスクリーン(版画)の体験を楽しむなど、全期間中で900名以上の方が来場し、大盛況のうちに終了しました。

石橋社長の作品は、さわやか倶楽部の介護施設や北九州市長の応接室にも飾られており、プロフィールや歴史はさわやか倶楽部のホームページからも見ることができます。

ホームページをチェックしよう!

<http://www.sawayakaclub.jp/ishibashi/>



メラリ★一等星



生活相談員
伊藤 英理子さん[53歳]

《2019年11月1日開所!》
●さわやかながれやま館
(千葉県流山市)

自宅でテレビを見ていたら、ある有料老人ホームの特集をやっていました。男性の入居者様に「やってみたいことは何ですか」と施設のスタッフがお聞きしたら、「夜もう一度飲みに出かけてみたい」と言わっていました。そこで、施設内にスナックを作り、男性の入居者様が飲みに行くだけでなく、ワイシャツに蝶ネクタイ姿でバーテンダーになり、生き生きと生きがいを持って暮らしている様子が放映されていました。それが、九州にある『さわやか倶楽部』だということを知りました。こんな施設で私も働いてみたい、それがこの会社に入社したきっかけです。

入居者様やご家族様から、笑顔と「ありがとう」という言葉を頂いたとき、この仕事について本当に良かったと思います。それが、私が仕事を頑張れる源です。「さわやかあびこ館」に入社して半年経過し、新規オープンする「さわやかながれやま館」に異動が決まりました。あびこ館での勤務最後の日、あびこ館の皆さんが私のためにギターやバイオリンを弾いて「贈る言葉」を歌ってくれ、一言ずつ言葉をかけてくれました。この時、本当に嬉しかっ

た。ただただ嬉しかったです。この会社に入社しなければ、是此田施設長やあびこ館の皆さんには出会えなかった。だから、さわやか倶楽部に感謝しています。きっと一生の宝物になると思います。

11月1日にオープンする「ながれやま館」で、早期満床記録を作りたいです。そしてどこよりも仲の良い、チームワークの良い「ながれやま館」をつくっていくことが私の希望です。

趣味は、家の近所を散歩することです。近所にある手賀沼の遊歩道を、季節を感じながら白鳥に餌をあげたり、白鳥の子供の成長を見ていると、とても幸せな気持ちになります。私はとっても暑がりで、寒い冬でも汗をかいています。PC横にはミニ扇風機が欠かせません。そんな私を見て、是此田施設長や事務所の同僚の皆さんのがハンカチをプレゼントしてくれました。それが私の自慢です。このハンカチをしっかりと握りしめて、どんな季節でも笑顔で頑張っていきます。

全国の皆さん、近くまでお越しの際は是非「ながれやま館」に遊びに来てください。お待ちしています。



日

報

賞

ウチヤマグループで働く皆さんの日報をご紹介します！



伊達 紀子さん ●さわやかくまがや館（埼玉県熊谷市）

遠隔地本社研修「ケアインストラクター養成研修」の最終日として、ランク2アップ試験を受験させていただきました。昨日1回、本日4回受け、5回目でようやく合格しました。15人の全国から集まった仲間が、出来の悪い年長者に温かい励ましをくれ、昨晚は遅い時間まで自主練に付き合ってくれました。私が合格をもらったときには、皆で歓喜の声をあげて喜んでくれました。とても、とても嬉しかったです。とても素敵な仲間たちと出会わせてくれた研修と、参加を許可してくれたエリアマネジャー、施設長、運営指導部の皆様に感謝いたします。

松元 めぐみさん ●コロッケ俱楽部 隼人店（鹿児島県霧島市）

ランチでご入室のお客様の中に、卵アレルギーのお客様がいらっしゃいましたので、食材の原材料確認、調理器具のチェック等気を付けて対応しています。また、ランチのデザートに付けている焼きドーナツにも卵が入っておりましたので、代替えで少量の冷凍フルーツを提供したところ、たいへん喜んでいただけました。ランチの販促を強化していますので、細かい気配りを続けてリピーターを増やしていきます。



産んでくれて、育ててくれて、ありがとう。



中村 みすずさん

●さわやか
むなかたのもり
(福岡県宗像市)

私は今から48年前に北海道紋別市で誕生し、現在は福岡県宗像市に住んで22年になります。母は現在76歳で現役の看護師として働きながら、宗像市の隣の福津市で元気に過ごしています。

母は昭和18年に生まれ、祖母に背負われ空襲を潜り抜け生き延び、その後も語りつかせない波乱万丈の人生を過ごしてきたと聞いています。4歳の時に母の実家がある福岡に戻り、私が小学校の時に父と離婚。兄と私、弟の3人を抱え、祖母と5人での大変な生活だったと思います。しかし、明るい母との生活で寂しいと思ったことはありません。私たちが育ちざかりの頃は米を毎月40kg食べていたらしく、生活もぎりぎりだったと今となっては思うのですが、カレーに肉が入って無い時は「今日は野菜カレー」と言い、あるときは田んぼのヨモギや柿の木の若葉の天ぷらを作ってくれて「食材費タダ」と笑顔で言い切る母でした。病院で婦長秘書をしていた母は、看護婦長の勧めで看護学校に入学し、昼は病院、夕方から学校、家では家事をこなしていました。茶碗洗いの手伝いは私の日課でしたが、試験前になってさぼろうとした時、母に言われたことがあります。「試験前だからこそ茶碗を洗いなさい。形の違う茶碗を洗う順番、すぐ順番と考えるでしょう、勉強だけ出来てもつまらん」と。私が20歳になると、母は正看護師の資格を取るために近くの看護学校へ入学し、昼は病院、夕方から学校の生活となりました。

母は看護師だけでなく、手話通訳の資格も元々持っていましたが、60歳頃には舞台演出・脚本に挑戦したり、乳がんを克服したりと、バイタリティ溢れすぎる母から様々な体験や経験を通して、どんな境遇でも前向きに生きていけるように育ててもらいました。私が結婚する時に主人の母と同居することに決めた時も、一番に賛成してくれたのは母でした。21歳で結婚し、仕事を続けながら3人の子どもを育てていけたのは、主人の母のおかげです。

産んでくれた76歳の実母と、ずっと助けてくれた80歳の義理の母へ改めてお礼を言いたいと思います。二人のお母さん、産んでくれて、育ててくれてありがとうございます。

●さわやか愛の家しものせき館
施設の職員の方にはいつも良くしていただき感謝しております。子供のこともきちんと見てくださり、情報も教えていただきとてもありがたいです。行事、調理、おやつレクも沢山あります。（山口県下関市・永住様より）

●さわやか中原館
施設の職員の皆さん、いつも笑顔で対応してください、家族としては安心してられます。入浴の際には体部のチェックなどよくしてくださいます。家族に対しても相談するとよく聞いてくれます。ストレスがたまらないようになりたいです。行事、調理、おやつレクも沢山あります。（福岡県北九州市・厚東様より）

●コロッケ俱楽部 築紫野店
いつも割引券をくださいるのでとても助かっています。カラオケの教室をしていますが、月に四～五回利用しています。スタッフの方は皆さん感じが良くて親切で、とても気持ちがいいですね。以前は他のカラオケボックスにも行っていたのですが、今はコロッケのみです。元気でいる限り、ガンバッテ来たいと思っています。（福岡県筑紫野市渡辺様より）

●コロッケ俱楽部 黒崎カムズ通り店
北村さんは明るくて親切で、元気があり、業務をされて好感が持てます。誕生日記念に割引券を頂いていたので来店しました。接客は北村さんがしてください、前から知っていますが久しぶりに会えてうれしかったです。ケーキも出してくださり、誕生日に嬉しいひと時を過ごしました。（福岡県北九州市堂本様より）

おたよりのご紹介



ぶどう狩り

秋の外出レクレーションといえばぶどう狩り。今回の行き先は白根グレープガーデンです。ぶどう畑を進んで行くとヤギさんやうさぎさんがお出迎えしてくれました。エサやり体験ではやぎさんの勢いに押され気味のお姿も。笑い声が絶えない瞬間でした。また美味しいぶどうに皆様、これまた満面の笑顔を見せていただきました。最後は記念にパネルからお顔を出してベストショットを頂きました。

ご参加されなかったご入居者様方にもお土産を購入して館内全体で秋を楽しんだ一日となりました。(丸山 夕紀)



新居浜太鼓祭り

新居浜が1番熱くなる「新居浜太鼓祭り」が10月16日より始まりました。金糸銀糸に彩られた太鼓台の姿は豪華絢爛で、勇壮華麗なことから「男祭り」とも言われています。日本三大喧嘩祭りのひとつに数えられていますので、熱気溢れる祭りが各地で行われます。



新居浜館にも地元の「東田太鼓台」が来てくれました。お祭り好きの方が多いので、太鼓の響きを聞いて皆様、興奮です。満面の笑みと拍手でお出迎えいたしました。新居浜は高台にあるので、東田太鼓台の皆様も大変だったと思います。いつもありがとうございます。皆様、楽しみにしていましたので来年もぜひ来てください。(大平 亮子)



さわやか だより

日々更新される施設のブログから
一部をご紹介します。

コーラスなでしこ演奏会

さわやかすずめのみや【コーラスなでしこ】の皆様が演奏を披露しに、かぬま館まで来てくださいました。

活動のきっかけは、歌の大好きな利用者様が集まり、自分たちで練習を始めたそうです。そんな姿を見て、利用者様の御家族の『山本様』が講師を引き受けくださいり、本格的なサークル活動がスタートして3か月と言っていました。



とてもきれいな歌声に、かぬま館の利用者様も職員も酔いしれていきました。また、懐かしい歌と一緒に歌う利用者様もおられました。1曲1曲に込められた想いや情景、その曲が誕生した理由などを話してくださいた後に聞く歌は、また一段と感情が伝わってきて、感動でした。

歌ヨガも教えていただき、深~い呼吸でリラックスできて、とても楽しい時間となりました。



さわやかすずめのみやの藤井施設長、山本様、コーラスなでしこの皆様、本当にありがとうございました。また、一緒に歌いましょう。(手塚 恵)

秋祭り

町内の秋祭りがありました。今年もなんよう館の入り口まで山車を運んで来て下さいました。

太鼓の迫力のある音とリズミカルな音色に入居者様も釣付けでした。そして子ども会の獅子舞も登場。小さい子たちが頑張っていると、獅子舞もかわいくみえますね。入居者様のお顔も自然と笑顔になっています。



最後は子ども達と握手をしてお別れです。素敵な時間を作っていただきありがとうございます。また来年も楽しみにしています。(立石 真里)

運動会



入居者様の選手宣誓で運動会が始まりました。玉入れ、大玉転がし、借り物競争、パン喰い競争、そして障害物競争。応援団を中心に入居者様の大きな声援が館内に響き渡り、活気あふれる運動会となりました。



運動会を実施するにあたり、入居者様にアイデアを頂き、大道具、小道具も作りました。その過程が更にあびこ館の絆を深めてくれました。

運動会は大成功。入居者様と楽しい時間を共に過ごせたこの時間に感謝です。(太田黒 典子)



第3回 芋ほり大会



今年も「芋ほり大会」を愛の家の児童とそのご家族様、ボランティアの方、職員の総勢63人で盛大に行いました。愛の家の児童も兄弟児も、芋ほりを一生懸命頑張っている姿が見られ、とても楽しそうな声が聞こえていました。保護者の方もたくさん来てくださいり、他の家族との交流で色々話せる機会ができ良かったという声も聞けました。家族会として大成功でした。

来年も安全に楽しくできるよう、職員一同はりきって頑張りたいと思います。(田村 優一)

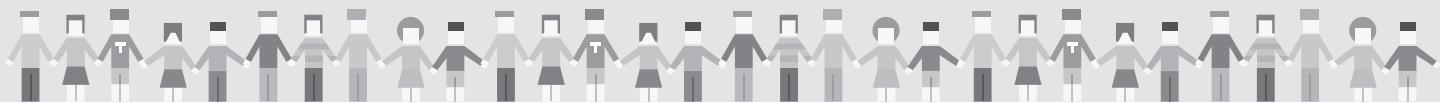


秋祭り

10月9日に坂ノ市神社の秋祭りがあり、さかのいち館にお神輿が来てくれました。お祭りが大好きな入居者様達はとても喜び、一緒にお神輿に参加されました。

またお神輿だけでなく獅子舞も来て頂き、入居者様お一人お一人の頭を囁んでいました。入居者様からは「ご利益があるなぁ」「幸せになれるなぁ」などの喜びの声があがっていました。(栗林 瑞樹)





読売新聞に連載

ウチヤマグループの歴史

先日、読売新聞に私の半生を記事として載せていただきました。「道あり」というタイトルの連載コラムで、九月十八日から七回にわたって掲載していただきました。私の幼少期や創業時の出来事まで遡り、今のウチヤマグループがどのような歴史歩んできたのかがよくわかる内容になっています。この記事の作成にあたっては、読売新聞編集委員の時枝様が何度も本社に足を運んで、熱心に情報収集してくださいました。取材の中で、過去の出来事を思い出したり、当時の写真を見たりして、私自身も創業時の気持ちを思い起こす良い機会になりました。学校を卒業し、家業の米屋を継いでからの約六年間に、時代背景も日々ぐるしく変わつてきました。経営状態が良い時も大変な時もあった中で、今日までがむしやらに進んできましたが、常に向上心を持つて挑戦していたことや、株式上場をはつきりとした目標に持つて努力していたことは忘れません。

ウチヤマホールディングス設立の経緯

実は、株式上場を目指し具体的に動き始めた当初、介護の部門だけをグループから独立させて上場しようとしていた時期があります。当時まだ歴史が浅く、毎年大きく成長していた介護部門のさわやか俱乐部は、過去の資料の整理を短時間で行うことができ、投資家からの評価も期待できると判断していました。ただ、上場準備を進めていく中で、カラオケ・飲食部門を中心とするボナーとの関わりを完全に切り離すことは、実務的にも心情的にも非常に難しく感じてきました。さわやか俱乐部はまだ若い会社だけに管理部門が成熟しておらず、他部門の協力が不可欠だった上に、何よりも不動産やカラオケ・飲食といったボナーの各部門にも、ウチヤマグループに長年在籍して会社を支えてくれている優秀な社員がたくさんいました。長期的には、グループ全体を上場させていく展望はあったものの、最初に介護部門だけを上場させることには、少しばかりの心残りがありました。しかしながら、上場準備を進めていく過程で、ありがたいことに会社全体の業績と財務内容が著しく改善し、グループ企業としての地盤が強固になっていきました。そこで思い切って、誰の

目から見てもわかりやすい形で上場するように方向転換し、今から十三年前の二〇〇六年十月一日に、持株会社としてウチヤマホールディングスを設立したのです。

この方向転換によって上場を果たす時期は少し遅れましたが、グループの全社員が一丸となり、迷いがなくなったと思います。その一丸となつた思いは、業績にも良い影響を及ぼし、二〇一二年四月に最初の目標としていたジャスダック市場に上場を果たすことができました。その後二〇一三年十二月に東証二部、二〇一四年九月に東証一部へ順調にステップアップし、今では東証一部上場から五年が経過しています。このようないきさつもあって、ウチヤマホールディングスの設立には私自身特別な思いがあり、毎年十月を迎えると当時のことを思い出します。

輝く未来のために

今、ウチヤマグループは「売上一〇〇〇億円、営業利益一〇〇億円」という新しい目標に向かつて前進しています。大きな目標ですが、いつかきっと達成できると思っています。私はいつも職員の皆さんに「楽しく仕事をしましよう」と繰り返し伝えています。これは、樂觀主義で「一二一〇しなさい」という意味ではありません。一所懸命に仕事をして、諦めずに工夫と努力を続けると、成功の喜びを体験することができます。その喜びを次の仕事の糧にして更に仕事を頑張ると、より大きな成功体験を積み重ねることができます。そうしていくつもりで、仕事が楽しくて仕方なくなります。更には自分自身の成功ではなく、お客様や取引先、部下や仲間の成功を喜び、社会に貢献したいという思いを育むまでもに成長していくことができると思います。職員の皆さん、改めて皆さんのが新しい事業を生み、皆さんの頑張りが自分自身の人生の成功と、ウチヤマグループの異なる発展につながっていくのです。



未来の地図帳から見えてくるもの

読書の秋です

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋…というように、日本には秋という季節の前に言葉を加えて「〇〇の秋」という表現がたくさんあります。この時期は何をするにも気候が良く、一年の中でも特に活動しやすいことを表しています。介護部門においては、この時期に外出や外食など屋外での活動を増やすことで、お客様以外の新鮮な空気を吸って元気になつていただき、美味しい秋の味覚がたくさん味わえる行事などを企画してほしいと思います。職員の皆さんも、仕事や私生活において積極的に活動の範囲を広げながら、新しいことにもどんどん挑戦してください。特に私がお勧めするのは「読書の秋」、秋の夜長とも言われますが、秋が深まるにつれて夜の時間も長くなりますが、読書や勉強する時間を少しでも作つて、自己成長を図りましょう。私の部屋にも蔵書がたくさんありますので、これまで紹介した良書も参考にしながら、気になる本があればぜひ手に取つてみてください。無知の知に出会い、今まで知らなかつたことを知る喜びは、他の何にも代えがたい人生の醍醐味を感じさせてくれます。

人口減の社会にどう生きるか

今月私が推薦する本の中で、皆さんに特にお勧めしたいのが、『未来の地図帳』という本です。同じ著者が書いた『未来の年表』『未来の年表2』という本を以前紹介したので、読んだ方も多いと思いますが、日本全体で人口が減少していく中でこれからどのようなことが起きるのか、具体的な統計データをもとに未来を予言するショッキングな内容です。

本の中に書かれていた地方の百貨店の閉店やコンビニエンスストアによる二十四時間営業の一部見直しなどは既に現実化しており、人口減少への歩みは着実に進んでいます。今月紹

介する『未来の地図帳』では、日本の人口の推移を地域別に分けて分析し、これから日本人の移動によってどのような人口分布になつていくのかが詳しく書かれています。

私たちが事業を開拓する場所の選定においても、人口の動きを長期的な視点で俯瞰し、把握しておかなければなりません。特に老人ホームなどの介護施設を新規に開設する場合は、数十年もの長期にわたつて地域の方々を受け入れ、お世話をさせていただくことになるので、立地条件には特にこだわる必要があります。二〇年、三〇年経つたときに、その施設がまだ本当に地域の中で必要とされるのか、現在でも慎重に見極めながら検討を行つています。

本社のある北九州市をはじめ多くの地方都市においては、高齢化率はますます高くなる一方で、人口自体は減少に向かうため、介護施設の需要はあつても働き手の確保が難しくなることが想定されます。ウチヤマグループでは、インドネシアに子会社を設立して職業訓練校を立ち上げ、技能実習生の外国人を介護職員として国内の施設で受け入れる取り組みを既に進めていますが、今後はその存在価値がますます大きくなるのではないかと考えています。

また、首都圏においては今後も人口の流入が続きますが、地価が高く特別養護老人ホームなどの整備が進まない都心においては、住民の高齢化によって「介護難民」が増えることが懸念されています。さわやか俱乐部でも近年は、埼玉や千葉、神奈川といった首都圏に介護施設の開設を進めてきましたが、今後は東京の都心に施設を作ることも視野に入れながら、新たなビジネスモデルの開発を模索しています。

日本国内の出生率が伸びない現状において、未来の人口減と高齢化は避けられない状況にあります。その中で生まれる様々な課題をしつかりと認識しながら、私たちが社会のためにどんな形でお役に立てるのかを皆さんと一緒に考え、できることを一つずつ確実に実践していきたいと思います。



- 1 未来の地図帳
(河合 雅司)
- 2 世界5大宗教入門
(中山 俊之)
- 3 罪と罰
(ドストエフスキイ)
- 4 織田信長 433年目の真実
(明智 憲三郎)
- 5 Think clearly
(ロルフ・ドベリ)

- 6 ケーキの切れない非行少年たち
(宮口 幸治)
- 7 一度死んだ僕の、車いす世界一周
(三代 達也)
- 8 さるかにがつせん
(石崎 洋司 文/やぎ たみこ 絵)
- 9 どんぐりむらのほんやさん
(なかや みわ さく)
- 10 ハロウィーンってなあに?
(クリスティル・デモワノー 作)

アメリカ西海岸グレートカンパニー観察

9月17日から9月23日にかけて、船井総合研究所主催の「驚きのグレートカンパニー観察セミナー」が行われ、山本専務と一緒に参加させていただきました。今回の観察場所はアメリカ西海岸（シアトル、サンノゼ、サンフランシスコ）で、アマゾンやマイクロソフト、セールスフォースなど世界でも一流と呼ばれる企業の最先端の取り組みを学びました。各企業が独自の明確な「コンセプト（戦略概念）」を持ち、市場を大局的に観察し、顧客の変化をいち早く把握することで、他社に先駆けたイノベーションを実現していました。

一番驚いたことは、アマゾンがシアトルに展開するレジのないスーパー「アマゾンGO」など、新しいアイデアを実現化するための技術力の高さです。私自身、さわやか俱楽部で九州工業大学等との産学官連携事業に携わる中で、介護業界にもAIやIoTの活用が必須要件になると感じています。それらを基盤とした情報の2次利用や付加価値サービスの提供を考え、提案していきたいと思います。

また、一流企業ほど慈善活動への取り組みも盛んで、慈善事業を通して社会に貢献するとともに、職員の会社に対する愛着や思い入れも強くする仕組みができていると感じました。ウチヤマグループでも様々な社会貢献活動を行っていますが、職員一人ひとりが考えて行動できるような仕組みづくりができれば良いと思いました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。（さわやか清田館・宇津巻 進）



結婚おめでとうございます



山口一也さん
あや
&礼さん
(旧姓池宮)

藤本瑠璃さん&健一さん (旧姓岡本)

9月8日に入籍致しました。これからは夫婦として、苦しい時も楽しい時もお互い努力して助け合いながら、幸せで落ちていた家庭を築けるよう頑張っていきます。

さわやか大畠式番館 介護職員・藤本瑠璃



ご出産おめでとうございます

かわへはると 川邊陽斗くん

2019年7月18日生まれ

新しい命を授かり、今まで以上に仕事に打ち込み、家族を守つていけるよう精進してまいります。

★はるとくんのパパ
コロッケ俱楽部 行橋店
店長 川邊一樹



ご予約の締切は
11月30日(土)まで

0120-25-1185

受付時間
AM9:00
▼
PM5:00

クリスマス ケーキのご案内

2019
(株)さわやか俱楽部



今後の 開所予定



直径約18cm/6号
クリスマス
ストロベリートルテ
本体価格 3,600円(税込価格 3,888円)



直径約18cm/6号
生チョコ
クリームトルテ
本体価格 3,200円(税込価格 3,456円)



直径約18cm/6号
スフレ
チーズケーキ
本体価格 3,000円(税込価格 3,240円)

※写真はイメージです。一部地域により飾りが画像と異なる場合がございます。ケーキは冷凍でお近くの店舗までお届けします。
お召し上がりの際は冷蔵庫にて解凍してください。ご注文は最寄りの店舗（コロッケ俱楽部・かんてきやグループ）またはフリーダイヤルにて承ります。

名 称	定員・ベッド数	開所予定日
1 さわやかしらおか館 [埼玉県白岡市]	特定施設(55床)	2020年 2月
2 さわやかさくらのもり [秋田県秋田市]	特定施設(50床)	2020年 5月
3 (仮) さわやか神戸西館 [兵庫県神戸市]	特定施設(80床)	2020年 5月
4 さわやか室蘭式番館 [北海道室蘭市]	特定施設(50床)	2021年 1月
5 (仮) さわやか福島黒岩館 [福島県福島市]	特定施設(50床) ショートステイ(11床)	2021年 3月
6 (仮) さわやか明石館 [兵庫県明石市]	特定施設(50床)	2021年 3月

さわやか相談室

あなたのお悩み話してみませんか？



ひとりで
悩まないで！

お気軽にどんなことでもご相談ください。
お電話、メールお待ちしております！

電話番号

090-9497-5764

メール

sawayakasoudan@docomo.ne.jp